

【山崎名誉主宰の俳句】

そして

山崎 聰

月の夜の理科教室の人体図
十月はうすむらさきの樹々の影
やまとまほろば詩に遠く炭を焼く
釣瓶落としとりのこされて二三人
秋空はいまも青空父母祖父母
柱状節理人といて秋のなか
谿もみじそして神さまほとけさま
木の実落つえちこの里のまくらがり
偶数も奇数もなくて峡の秋
そぞろ寒象形文字のように寝て